



山本眞輔《黎明の折り-いのちの育む智-》



山本澄江《MY LANDSCAPE-折りの道-「まほろばの地を求めて」》



山本眞希《利休梅》

それぞれの道

— 山本眞輔・澄江・眞希 —

2025
8.28^{THU}
▽
9.28^{SUN}

岐阜市歴史博物館分館

第2展示室

加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内) TEL・FAX058(264)6410

開館時間：午前9時～午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休館日：月曜日【9月15日は開館】 9月16日(火)、24日(水)

観覧料：高校生以上310円(団体250円) 小中学生150円(団体90円)

※()内は20人以上の団体料金。

※下記の方は無料で入館していただけますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。

①岐阜市内在住の70歳以上の方

②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証又は登録者証、

小児慢性特定疾病医療受給者証又は登録者証の交付を受けている方、及びその介護者1名様

③岐阜市内の小中学生の方

④家庭の日(9/21)に入館する中学生以下の方と、同伴する家族(高校生以上)の方

※岐阜市歴史博物館特別展「岐阜城と織田信長」(8/8～10/13)の半券で入館していただけますのでご提示ください。

それぞれの道

—— 山本眞輔・澄江・眞希 ——



《PACE-平和の祈り-》



《黎明の祈り-いのち育む土-》



《人間讃歌-明日を祈りて-》



《心の旅-風に祈りて-》

山本眞輔 Yamamoto Shinsuke

東京教育大学（現筑波大学）教育学部で彫刻を学び、在学中の1962年、第5回日展初入選。大学卒業後、2度のイタリア留学を経て、1972年第4回日展で特選（以後1980年）。1999年第31回日展「森からの声」が内閣総理大臣賞。2004年第35回日展出品作「生々流転」で日本藝術院賞受賞。2007年中日文化賞。2024年旭日中綬章。現在、日本藝術院会員、公益社団法人日展顧問、名古屋市立大学名誉教授、西尾市名誉市民。

2025
8.28^{THU}・9.28^{SUN}

日本藝術院会員で日展顧問である彫刻家の山本眞輔、その仕事を支える妻で洋画家の山本澄江、二人の制作姿勢を仰ぎ見ながら創作活動に励む日本画家の山本眞希、三人三様の作品を紹介します。



流れる季-生生流転-（部分）



《うたかた》



《はなざくしま》



《Cranberry》



《コノハナザクラ》

山本澄江 Yamamoto Sumie

愛知教育大学美術科在学中よりペン画に魅せられ、イタリア国立ローマアカデミアに留学。1988年第1回上野の森美術館「日本の自然を描く展」に出品し文部大臣奨励賞を受賞。2017年伊勢神宮美術館特別展「野」―歌会始御題に寄せて―出品。2017年「山本澄江の世界―祈りの道―」を開催（古川美術館）。ペン、アクリルガッシュを用いて植物を配した色彩豊かな心象風景を描き続けている。

山本眞希 Yamamoto Maki

金沢美術工芸大学卒。卒業後、口展に出品を始める。1995年口展初入選、2010年日展東海展で中日賞を受賞。日展会友、新日春会会友。女性と自然をモチーフに命の儚さをテーマとして制作に取り組んでいる。作品に「太郎庵 襖絵」（古川美術館別館 為三郎記念館）、「月あかりの刻」（中部大学）がある。

岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内) TEL・FAX058(264)6410

交通案内

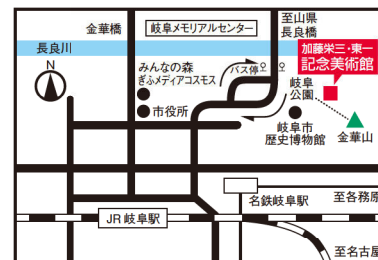
JR岐阜駅・名鉄岐阜駅前から、
長良橋方面行きのバスにご乗車ください。
「岐阜公園・岐阜城」で下車(所要時間約18分)
徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェー山麓駅横)

駐車場

岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。
駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



ホームページ



第1展示室

加藤栄三・東一 岐阜を描く

令和7年7月9日(木)～9月28日(日)